

障害者 カラオケ楽しむ 静岡



十八番の曲を披露した出演者
＝静岡市葵区の県総合社会福祉会館

県身体障害者福祉会は3日、カラオケ大会「第41回県身体障害者つたの広場」を静岡市葵区の県総合社会福祉会館で開いた。県内各地から約30人が出演し、練習を重ねた十八番の曲を披露した。

60～80代の出演者がステージに立ち、カラオケに合わせて自慢の歌声を会場に響かせた。観客はリズムに合わせて足踏みや手拍子をしたり、歌を口ずさんだりしながら楽しんだ。

大会は身体障害者が歌を楽しむことで親睦を図り、自立と社会参加の意欲を高

めることが目的。岩瀬輝美会長は「声を出すことはリハビリにもなる。健康につながる機会になれば」と話した。